

授業科目 救急医学・演習（講義15時間）

【担当教員名】 朱 敏秀	対象学年	3	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30（内15）

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

医療福祉の学習を円滑に行うために、一次救急医療の諸種症候の病態を理解し、その診断・対処・治療を学ぶ。
更に救急医学の基本的知識と初歩的な問題解決能力を修得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	救急医学とは、 主要症候別救急医療の実際（Ⅰ） （1）呼吸困難 （2）ショック （3）胸痛、背部痛 （4）腹痛 （5）意識障害		講義
2	主要症候別救急医療の実際（Ⅱ） （6）頭痛 （7）痙攣 （8）発熱 （9）急性中毒 （10）精神疾患		講義
3	救急医療における検査・治療手技（Ⅰ） （1）心肺蘇生法、AEDについて （2）気管内挿管 （3）気管切開 （4）バルーンカテーテル挿入法 （5）S-Bチューブ挿入法		講義
4	救急医療における検査・治療手技（Ⅱ） （6）胸腔ドレナージ （7）腰椎穿刺 （8）血液浄化療法 （9）救急時輸血 （10）血液型判定・交叉試験・輸血		講義
5	全身管理の基本（Ⅰ） （1）呼吸管理の基本-酸素療法から機械換気まで （2）循環管理の基本		講義
6	全身管理の基本（Ⅱ） （3）体液・電解質の管理の基本 （4）体温管理の基本		講義
7	救急医療における画像の読み方 （1）胸部X線 （2）腹部X線 （3）腹部エコー （4）心エコー （5）頭部・胸部・腹部CT		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	不要			
参考書				
その他の資料	プリント（自製）、スライド（35ミリ）と液晶			

【評価方法】	【履修上の留意点】